

2020 名大みらい育成プロジェクトー国際環境で地球規模の問題に挑戦するー 実施要項

1 主催

東海国立大学機構 名古屋大学

*令和2年度三菱みらい育成財団からの助成事業として実施します。

2 目的及び企画の概要

(1) 目的

様々なメディアで日常的に報道され、身近な社会問題となった気候変動等の地球規模の課題について、本大学のグローバル 30 国際プログラムと教養教育院の教員が、高校生を対象に英語による講義、グループ演習、プロジェクト型学習を実施します。状況を分析する力、計画を立案する力、解決案を描く力、多様性を理解し受け入れる力などを涵養し、総合的な問題解決能力を高めます。また、英語によるコミュニケーション能力を伸ばし、地球規模の問題の解決に向けて国際的に活躍できるリーダー人材の育成を目指します。

(2) 企画の概要

ア 3ステージ構成による段階的な能力の育成

3つのステージを用意して、課題の難易度を高めながら、受講生の問題解決能力、並びに、英語によるコミュニケーション能力を段階的に育成します。

イ 活動内容

3つのステージ（英語による講義、グループ演習、プロジェクト型学習）から成ります。

第1、第2ステージでは地球温暖化、自然災害、国際協定、虚偽情報、移民政策、幸福とは何か等のテーマについて学びます。第3ステージでは受講生がテーマを設定します。

<第1ステージー英語による講義>

参加希望者の中から参加申込書により、100人程度を選んで実施します。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、第1ステージはオンライン講義で行います。実施日は、8月8日(土)、8月10日(月)、8月12日(水)の3日間を予定しています。

第1ステージの目的は「地球規模の問題の特徴を理解する」ことです。本大学などの外国人教員が英語による講義を1日1つ、3日間行います。

受講生は、事前に講義の背景を理解し、基礎知識を得るための予習をします（前日に英語用語集、平易な英語または日本語の資料を配信します）。当日、外国人教員による60分間の英語での講義を視聴し、英語での質疑応答の時間を20分間設けます。その後、受講生は筆記課題に日本語で回答します（当日午後6時までにオンラインで提出します）。筆記課題では英語の理解力、テーマを要約する能力、表現力、論理性などを評価します。

3回の筆記課題の成績により、第2ステージへ進む32人程度を選抜します。

<第2ステージーグループ演習>

第1ステージより32人程度を選抜して実施します。

実施日は、8月29日(土)～10月24日(土)のうちの土曜日8日間を予定しています。

第2ステージの目的は「問題解決の手法を学ぶ」ことです。

受講生は4人で1つのチームを組み、名大留学生（ティーチングアシスタント）から英語による指導を受けながら、問題解決のグループ演習を行います。チーム4人で問題の解決に必要な4つの役割を分担し、チームの一員として計画を遂行する能力、並びに、チームのリーダーに必要な能力を養成します。最終日の8日目は、各チームが選んだテーマについて英語で口頭発表します。

演習での取組、作成した資料、口頭発表の評価により、第3ステージへ進む16人程度を選抜します。

<第3ステージープロジェクト型学習>

第2ステージより16人程度を選抜して実施します。

実施日は、合宿研修の事前研修として11月～翌年1月の土曜日に6回の研修を予定しています。

第3ステージでは、新しい4人のチームで一つの課題を設定します。その際、国連の持続可能開発目標(SDGs)を参考にして、地球規模の問題の中からテーマを選びます。次に、本大学の専門分野の教員から指導を受けて、テーマに関する問題の解決案を英語で作ります。完成した問題解決案を合宿研修にて外国人教員、留学生などに向けて口頭発表します。

合宿研修については、2021年3月上旬～3月中旬の3～4日間、国内の自然溢れる環境での実施を予定しています。本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、予定していた海外研修は実施しません。代わりに、ドイツの環境都市フライブルクにあるUWC ボッシュ校、あるいは国内のUWC ISAK 校(軽井沢)と合同でのオンライン授業などを行えるよう調整しています。UWC 校に在籍する世界約90か国の高校生と交流する機会を設定し、国際色豊かな学習環境で充実した内容の研修を実施する予定です。

3 費用

- (1) 受講費用はありません。
- (2) 原則として、本大学へ通う交通費は自己負担となります。但し、第3ステージでは、本大学の規定に従い、一部交通費の補助があります。
- (3) 合宿研修の交通費、宿泊費は本大学から負担します。但し、食事代などは自己負担となります。

4 受講生の募集

(1) 受講者の要件

- ア 2020年4月において、高等学校に在学する第1学年または第2学年の生徒であること。
- イ 英語による日常的なコミュニケーションができること(英検準2級程度)。
- ウ 各ステージの学習活動日に本大学へ通学できること。
- エ **本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、第1ステージをオンライン講義で行います。それに伴い、オンラインで配信される講義を視聴できること。**

(2) 募集の方法等

学校長の推薦による「学校推薦」で募集します。学校を通して参加申込書を提出してください。2021年3月に実施予定の合宿研修は授業日を含むため、学校長の承認を必要とします。

(3) 申込み方法

以下の通り郵便および電子メールにて、高等学校ごとにまとめてお申込みください。なお、推薦者が4人を超える場合は、別紙様式aについては適宜用紙を追加してください。

別紙様式a及びbに記入の上、**7月31日(金)**までに、**投函**してください。

また、別紙様式a及びbを電子メールに添付して**7月31日(金)**までに、送信してください。

○郵送先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 教育基盤連携本部 名大みらい育成プロジェクト 事務局 宛

○電子メール送信先(本大学の所属メール)

nu-mirai@bio.nagoya-u.ac.jp

(4) 参加者の決定通知

8月4日(火)までに参加者を決定し、各学校に通知します。希望者多数の場合は、参加申込書をもとに選考します。

5 本件の問合せ先

東海国立大学機構 名古屋大学 名大みらい育成プロジェクト事務局

林 誉樹・熊崎 里美

(TEL) 052-747-6943

(HP) <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/meidai-mirai/>

(E-mail) nu-mirai@bio.nagoya-u.ac.jp